

校訓
理想は高く 心清らに

学校教育目標
自らに誇りを持ち、主体的に学び、考え、行動する生徒の育成

三綱領
自主・勤労・協和

生徒に身に付けさせたい資質・能力

(1) 昨日の自分より成長する力 (2) 自分の生活を管理する力 (3) 相手を思い、つながる力

- 誰一人取り残さない学力向上の取組
→個に応じた学習の支援の工夫
→「分かった」「できた」が生まれる、教科の本質を捉えた授業内容の工夫改善
- 目標の設定と振り返りの充実
→学級目標、人権目標の定期的な振り返り
- 授業における振り返りの徹底
→授業での振り返りで、自分の成長できた部分や次回へ向けての目標の確認
- 耕心タイムの充実
→基礎的・基本的事項の成長を確認
→朝の読書活動の推進、図書室利用の活性化

- 生活を段取りする力の定着
→生活ノートの活用と習慣化
→一日の生活リズムの適正化
→テストに向けての計画的な実践
→時間や提出期限を守る取組
- 情報機器の適切な使用についての呼びかけ
→子どもたちによるルール作りや啓発
→定期的なアンケート実施による実態把握
→学校・地域・保護者の協力体制の確立
- 自力登校の推進
→自分の力で登校し、自立を目指す姿勢を育む取組

- 多面的・多角的な視点を身につける道徳の実践(道徳)
→自分自身や他人への見方を変える授業展開の工夫
- 相互理解を深める手だての実践と工夫(揭示、啓発、人権教育の取組)
→進路公開、ありがとうの木、スピーチ
- 話し合い活動を通じた、学級を振り返る時間の設定(特別活動)
→資質能力についての振り返り
- 言語環境の整備(生徒、教師、啓発)
→暴言、いやがらせ、からかいの根絶
挨拶やマナーアップの取組

学校経営の基盤(人権尊重の精神、命と人権を守り抜く)

- 信頼される学校づくり
- 学校・子ども・家庭・地域・行政の五者が連携・協議した学校づくり
- 地域の願いと連携
- 学校運営協議会
- 地域学校協働活動